

第26期・第3回

環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会 議事要旨

日時：令和6年7月8日（月）17:00～19:00

会場：オンライン会議

出席者：大塚 直、森山 美知子、秋葉 澄伯、浅見 真理、石塚 真由美、小熊 久美子、小椋 康光、小野 恭子、鹿嶋 小緒里、春日 文子、近藤 智恵子、茶山 一彰、中村 桂子、野原 恵子、橋爪 真弘、藤井 健吉、渡辺 知保

欠席者：上田 佳代

議題等

(1) 第1回、第2回議事要旨の確認

- ・特に意見なし

(2) 「リスクの概念と環境リスク」に関する勉強会

- ・小野恭子先生の講義に続き、質疑応答がなされた。
 - ・疫学で用いるリスクと実験研究で用いるリスクの定義の違い
 - ・費用便益分析、経済分析における使用

(3) 「リスク社会における法的対応」に関する勉強会

- ・大塚直先生の講義に続き、質疑応答がなされた。
 - ・環境デューデリジェンスの実現可能性について

(4) シンポジウムについて

- ・以下の日程におけるシンポジウム開催について議論され、分科会として了承された。
- ・2024年11月9～10日 広島
- ・2025年3月19～21日 第95回日本衛生学会学術総会（さいたま市大宮区）

(5) その他

- ・第26期活動方針に関連し、以下の3つの課題について検討・意見交換がなされた。

1. 「プラスチックガバナンス」

- ① 国際条約の交渉
- ② 海洋におけるプラスチックの動態

- ③ プラスチック廃棄物・分別
- ④ プラスチック粒子による水生生物に対するリスク評価手法
- ⑤ プラスチックのヒトの健康、生態系の影響評価

2. 「プラネタリーヘルス」

- ① グローバルリスク
- ② 気候正義（地域間、世代間の不平等なリスク）
- ③ 気候変動訴訟

3. 「環境リスク全般」

- ① 環境リスク評価
- ② ESG におけるリスクの扱い

・本分科会で取り上げるリスクについて、「リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション、リスクガバナンスのどれに焦点を当てるのか」、「複合リスクの考え方」等について情報共有の必要性が指摘された。